

会計事務所に新しい風を起こす

NMC通信

2021年・夏[第30号]

巻頭特集

**「世の中はパフォーマンス。
頭の良さ、知識の豊富さ
ではない」と教えていただいた**

村上孝夫税理士事務所（東京都葛飾区）

特集

**エヌエムシイ税理士法人は
ペーパーレス推進で日常業務が変わった**

CONTENTS

P.2 CASH RADAR PB システム リリース情報

P.4 巻頭特集
「世の中はパフォーマンス。頭の良さ、知識の豊富さではない」と教えていただいた
 村上孝夫税理士事務所（東京都葛飾区）

P.9 特集
エヌエムシイ税理士法人はペーパーレス推進で日常業務が変わった
 エヌエムシイ税理士法人（東京都中野区 / 福島県いわき市）

P.13 操作マニュアル動画を公開しております！
 サポートセンター 佐藤恵美子

P.15 サポート Q&A

P.16 あとがき

当冊子の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を禁じます。



Cover Story ▶▶

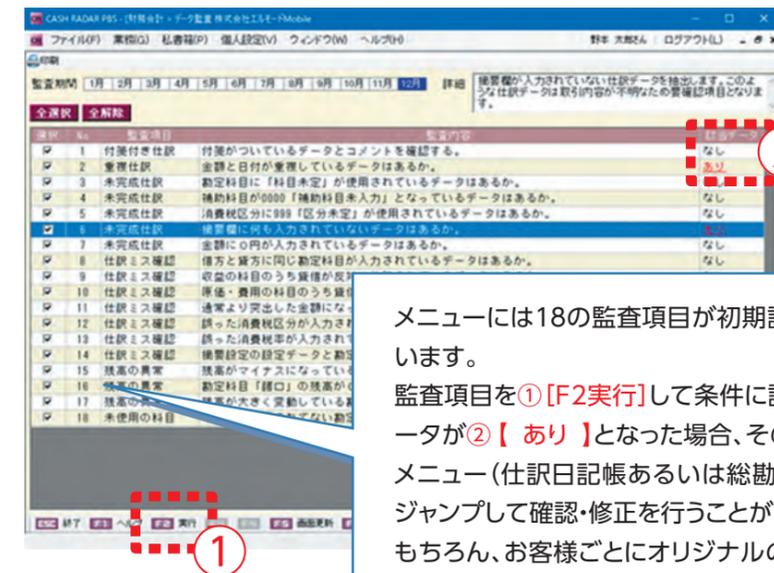
今回の表紙は、巻頭特集にご登場いただいた東京都葛飾区の村上孝夫先生と村上和也先生です。

御年 85 歳になる村上孝夫先生は、弊社エヌエムシイの創立者野本明伯と出会い、今日まで約 30 年のお付き合いになります。

今回は、村上孝夫先生、村上和也先生にインタビューをさせていただきましたので、ご紹介します。

会計[データ監査]ご利用ですか？

PBシステムの「データ監査」とは、いろいろな条件の監査項目を使用し一括でデータチェックを行うメニューです。



メニューには18の監査項目が初期設定されています。
 監査項目を①[F2実行]して条件に該当するデータが②【あり】となった場合、そのまま入力メニュー（仕訳日記帳あるいは総勘定元帳）にジャンプして確認・修正を行うことができます。
 もちろん、お客様ごとにオリジナルの監査項目を追加作成することも可能です。

業務の標準化ができます

チェック項目は「重複仕訳」「未完成仕訳」「仕訳ミス確認」「残高の異常」など。判定条件がシステム化されていることにより、スキルやキャリアを問わず各担当者が同じ目線でチェックを行うことができます。

”絞り込み検索“の定型パターンとしても活用できます

監査項目としてではなく、日記帳や元帳の〔絞り込み検索〕の代わりとしてオリジナル項目を作成・登録しておく運用もご紹介します。

よく使う検索条件をボタン1つでいつでも実行することができるようになります。
 <例> オリジナル項目「No19.金額が5,000円を超える接待交際費はあるか」



巻頭特集

「世の中はパフォーマンス。頭の良さ、知識の豊富さではない」と教えていただいた

村上孝夫税理士事務所（東京都葛飾区）

エヌエムシイと長年のお付き合いをさせていただいている村上孝夫税理士事務所の所長税理士、村上孝夫先生にインタビューの機会をいただきました。

スピードは人に負けない自信があった

孝夫先生 父親から事務所を引き継いだとき、うちには事務員が3人いました。でも、申告書を書けるのは私しかいませんでした。だから、一人で380枚くらい作りましたね。当時は全部手計算で手書きですからね。それは大変でしたよ。

私が手書きした申告書を隣で妻が清書してくれました。妻は税理士ではありませんが、税法は知らなくても、数字のつながりは知っていましたので、私が計算したものをここが違っているとか見つけるときもありました。2人とも若かったから、忙しいときには寝ずに申告書を仕上げていました。

私はスピードは人には負けない自信があった。税務署の確定申告の応援があるでしょ。あれにいくと、申告書を日に50枚は作ってきました。普通の人は10枚くらいしかできないので、とにかく早かった。

でも、今は流石にね、年も年だから仕方ないけど。若いころと違って心が走らない、頭では先走っているけど、自分がのろまに感じてしまう。これはね、この年になってみないとわからないのだけれど、身体がついていなくなるんですよ。

150万円捨てるつもりで行ってくる

——そのようなお話とは裏腹に85歳とは思えない目の輝きを放つ村上孝夫先生から、エヌエムシイの創立者野本との出会いについて伺いました。

孝夫先生 昭和50年代後半、60年代始めだったかな。50階建てビルの最上階で開催されたセミナーに行ったのが、野本明伯先生との出会いですね。そのセミナーで名刺を置いてきましたので、その後、エヌエムシイさんから箱根でのセミナーの案内が届きました。会計事務所経営スクールを開催するという案内です。2泊3日で1人あたり150万円の参加費ということでした。妻に話したら、ちょっと待ってよ、そんなの聞いたことない、騙されていないの、と言わ

れました。私も最初聞いたときはびっくりしましたけど、150万円捨てるつもりで行くと言って参加したんです。

野本先生がほとんど一人で朝7時から夜11時まで講師を務めていました。研修が終わったときのみかん箱一杯の資料をいただきました。でも、その資料を見ても、どうしていいかわからず、半年くらいは手を付けることができませんでした。あんなにいつぱんに色々なことを教えてもらったことは後にも先にもありません。

世の中はパフォーマンス。頭の良さ、知識の豊富さではない

孝夫先生 当時は何を教えてもらえたのか頭で整理できませんでしたが、今なら分かるんです。あの3日間で教わったのは「相手に響くことをこっちから働きかけよ」ということです。どうやって働きかけるのか、こういう手がある、こんな手もある、様々な方法を教えてもらったんです。言い方を変えると、情報発信の仕方ですよ。

それが分からなければ、お客様が来るのをただただ待ってるだけで、仕事はできたとしても何もならない。世の中はパフォーマンス。頭の良さ、知識の豊富さではない、それに尽きると私は理解しました。

30年近いお付き合いの中で教えられたことは

- ① 来たるべき時代の波をしっかりと読み取りなさい
- ② 眼に見えるように文字に落とし込みなさい
- ③ 自分の立ち位置から、どの方向に何を働きかけるか考えなさい
- ④ そして完成図を立案しなさい

野本先生は出会ったときから変わらず、それをご自身が体現されていましたね。

あの箱根の研修には全員で19名参加していて、私の隣の席には税理士業界で有名な先生が座っていました。今でもエヌエムシイさんとお付き合いのある先生がたくさんいますよ。

それにしても、19名に150万円をかけると約



村上孝夫税理士事務所

所長・税理士 村上 孝夫 先生

3千万円ですよ。初めて会って、初めて話をする相手に、あれだけインパクトを与えられた野本先生はすごいよね。人の心ってそうそう簡単には変わらないですからね。今顧みれば、野本先生は「自分だけ良ければいい」ではなくて、ちゃんと私たちに便益をもたらしてくれましたからね。とにかく、世の中には何とすごい人がいるものだと思いますよ。

紙じゃなくと理解しにくくは いつまでも言いつづければ

——村上会計事務所の後継者である村上和也先生にもお話を聞かせていただきました。今年の税制改正では電子帳簿保存の要件が緩和されま

孝夫先生 電子化していかねばならないということは、もちろん分かっていますよ。でもね、頭では分かっているけど簡単じゃない。

和也先生 紙をなくそうとして色々試みています。ドキュワークス※も導入したり、でも、実際にやってみると中々難しいですね。

※DocuWorks（ドキュワークス）：Microsoftのアプリケーションの一元管理や編集、セキュリティ付与などを行うことができる富士ゼロックス製のソフトウェア。



パソコンに不慣れなお客様への 帳簿作成指導は 苦勞の連続だった

ここからは、弊社エヌエムシイの矢本（写真：左奥）1996年入社、CASH RADARを事務所や企業へご利用いただくための研修を担当し、現在はシステム開発に携わっています。交えてCASH RADARを導入いただいたお客様への自計化指導のお話に移りました。

3回に分けて自計化指導をしてきました



村上孝夫税理士事務所

税理士 村上 和也 先生

例えば、画面で申告書のチェックをしていると、途中から画面上で印をつけることに集中してしまい、数字のチェックが疎かになって、紙で見ていると絶対に見逃さないようなミスがスルーして、所長の最終チェックで、これ違うじゃないかと指摘されたりもしました。何ていうか、紙に負けちゃうというかね。でもね、そんなこと言ったら、テレワークできないじゃないですか。まずはペーパーレスにして、データでチェックするのは当たり前で、今は画面上でチェックするときに、印をつけるのはやめました。印をつけることより、しっかりと確認し

和也先生 エヌエムシイ税理士法人さんでは東京に事務所ができたころ、いわきの事務所に資料を送って処理してもらっていましたよね。あれは製版分離みたいなもので、今の在宅活用に通じるものがありますよね。

矢本 そうですね。懐かしいですね。

和也先生 矢本さんはあの頃、経理コンビニ※（当時のエヌエムシイ税理士法人の顧問契約）を契約したお客様の帳簿作成、CASH RADARの操作指導をしていましたよね。

※『経理コンビニ』：税理士報酬規定の撤廃、広告の自由化の流れを受け、新しい会計事務所のビジネスモデルとして弊社の成功ノウハウを体系化したサービス。

矢本 はい。あの当時、1日3件くらい訪問してCASH RADARの操作指導をしていました。

和也先生 当時はパソコンに慣れていない人も多かったから、結構大変でしたよね。「パソコンの電源が入らない」なんて電話をかけてくるお客様もいました。矢本さんは1件のお客様に何回くらい指導に行っていましたか。

矢本 お客様によっては1回の場合もありますけど、3回くらい訪問して指導するケースが多

ているということのほうが重要ですからね。

孝夫先生 申告書や決算書、勘定科目内訳書を画面で見ていると間違いに気づきにくいよね。簡単に間違いが発見できるような仕組みができたらいですね。

和也先生 そうですよ。例えば、印をつけるのがタッチパネルだったらいいのかなと思います。今はドキュワークスでマウスを動かしながら、印をつけているので、本来のチェックに集中できないのかもしれないけど、タッチパネルだったらいいかもしれない。

孝夫先生 ペーパーレスにしておくことは、本当に大賛成なんだけど、私自身は中々大変だね。

和也先生 今度、エヌエムシイ税理士法人さんが、どうやってペーパーレスで仕事をしているのか教えてほしいなと思います。それから、テレワークで働いている人の管理の仕方聞きたいなと思います。

——この取材は2021年2月25日でした。村上和也先生には確定申告明けの3月19日に、ご来社いただきまして、エヌエムシイ税理士法人を見学いただきました。

かったです。その回数はお客様によって違いがありましたけど、村上孝夫税理士事務所様ではどのくらいの頻度で指導に訪問していましたか。

和也先生 うちの3回ですね。最初に普通預金の入力指導をします。普通預金は一つの取引を入れた後に残高が確認できるので、初心者に最初に教えるのいいですね。お客様の理解度を確かめながら、通帳の何行かを一緒に入力してみます。そして「大丈夫ですか。後はここまで入力しておいてください」って宿題を出してきます。次に行ったときは現金取引と一緒に入力して見て、また宿題を出してきます。最後はお金の動きのない売掛金の計上などの入力ですね。

そうやって、契約いただいた1件1件のお客様に入力指導してきました。それでも中には入力が上達しないお客様もいますからね。そういうお客様には「ちょっとお金がかかりますけど、うちで記帳を代行しますか」という提案をしてきましたね。

孝夫先生 今はパソコンで簡単に帳簿を作れるようになりましたが、昭和初期に税理士制度が始まったときは誰も帳簿を作ったことがなかったから、随分苦労しました。そういう歴史があって、今があるんですよ。

CASH RADAR]データを移行しています

——CASH RADAR以外の会計ソフトにも挑戦されたお話を伺いました。

和也先生 ここ2・3年、他の会計ソフトも挑戦してみました。補助科目が作ることができなかったり、数字の訂正が面倒くさかったり大変でした。お客様にとっての使い勝手はわからなけれど、会計事務所にとっては使いにくいという結論で、今後の利用は断念することにしました。CASH RADARであれば、3分の1の時間で入力できるなど思ったんです。摘要も取引先も番号が頭に入ってますので、帳簿作成を考えずにサクサクすすめられますからね。今、1件1件CASH RADARにデータを移行しています。

——話は変わりますが、CASH RADARには銀行取引やカード取引をデータで取り込む「Moneytree連携」という機能があり、これから、インボイス制度が導入されれば、請求データの取り込みもできるようになるでしょう。

孝夫先生 日本は独自に領収書を発行しているけど、台湾は規格が決まっていますよね。日本も規格が決まれば、会計ソフトへの入力も自動化できるようになっていくでしょうから、その

動きが加速していきますよね。

——台湾の事業者は政府に指定されている「統一發票」というインボイスを発行することになっており、税務当局で購入するようになっていくようです。日本では領収書も請求書も任意で作成できることになっていますが、台湾では事情が違うようです。

「知恵搾り」という看板が目立ちますね

——最後に村上孝夫先生に奥様に病床で書いてもらったという封筒に印刷された絵についてお話いただきました。

孝夫先生 あの看板を見てうちの事務所にはいらっしゃるお客様もいます。事務所の封筒にも印刷しています。これは、妻が亡くなる2日前に病院に筆を持って行って「書いてくれ」と頼んで書いてもらったものです。身体が思うように動かなくなってきたいて、書くのがちよつとしんどかったはずですが、筆をとって書いてくれました。

——奥様の描かれたダルマは村上孝夫先生や村上和也先生に似ているような気がしてなりません。奥様が意識して書かれたのか、無意識に似

てしまったのか。どちらであったとしても、長年苦楽を共にしてきた奥様が封筒を通して事務所を引き続き支えているようです。

この取材は2021年2月25日でした。確定申告のお忙しい時期にも関わらず、取材のご協力をいただきました。本当にありがとうございます。



村上孝夫税理士事務所

所在地 〒125-0042
東京都葛飾区金町6丁目4番1号
TEL 0120-296-316
創業 昭和23年11月
社員数 18名
URL <https://murakami-kaikei.com/>



エヌエムシイ税理士法人は ペーパーレス推進で 日常業務が変わった

NMC通信をご購読いただいている事務所様ではテレワークへの取り組みはいかがでしょうか。今号では、2020年4月の緊急事態宣言を機にテレワークを通常の働き方に位置づけたエヌエムシイ税理士法人がどのようにペーパーレスの環境を作り上げてきたのかをお話をさせていただきますと思います。

エヌエムシイ税理士法人（東京都中野区・福島県いわき市）



書棚から申告書をなくした

会計事務所はお客様の原始資料を確認して帳簿にまとめ、申告代理をしていますので、お客様からお預かりした資料や申告書など、たくさん紙書類の保管をしています。これらをデータにして保管しようと考えました。2009年7月に開始しました。

当時、エヌエムシイ税理士法人では決算書ファイルと呼んでいたファイルのデータ化作業か

らでした。そのファイルには、3期分の決算書・申告書、定款・謄本、各種届出書、議事録などがファイリングされていました。当時はスキャナーを購入しておりませんでしたので、複合機でデータ化作業を行いました。複合機で1件1件のお客様のファイルをデータにしていく地道な作業でした。当時、お客様の会社名を五十音順に行う案もありましたが、様々な想定をしてみた結果、決算月単位で行っていくことを決定しました。2009年7月にデータ化したのは、2009年6月に申告が終了したお客様です。つまり、4月決算で6月に申告したお客様です。

データ化は二転三転、 やり直しの連続でした

初めのうちは、年度単位で法人税の申告書、消費税の申告書、都道府県民税の申告書、市町村民税の申告書を一つのデータにしています。でも、データ化したファイルを開いてみると、ページ数が多いので一纏めにするの見にくいということに直ぐに気付きました。一度データにしたものを捨てて、もう一度データを最初から取り直しました。一纏めにせず別々にしたデータはとも見やすくなったのですが、今度は次の問題に直面しました。当時、フォルダ

に年度を付してしまいましたので、ファイル名には年度を入れていなかったのです。そうすると、ファイル名が一緒のデータは様々な場面で使いにくさが露呈したのです。それに気付いた時点でファイル名の付け直しです。仕様を決めて図式化してみたり、テスト運用を行ってみれば、もしかしたら二度手間は回避できたのかもしれない。

次は所内資料もデータ化しよう

お客様の決算書・申告書を保管する決算書ファイルには、所内資料も一緒に保管しておりました。決算を行うときのチェックリスト、決算をまとめるうえで確認をした資料をその年度ごとに一纏めにして保管していたのです。これも決算書・申告書と同時にデータ化しようということになりました。こちらは、基本的にはA4サイズの書類なのですが、途中にA3資料が混ざっていたり、2009年当時はまだB5やB4サイズも使用頻度が低くはありませんでしたので、複合機で一気にデータ化することができず、苦労をしました。決算に係る所内資料をデータ化すると、次に目についたのはお客様の期中の資料でした。当時のエヌエムシイ税理士法人は、1件1件のお客様ごとに決算書ファイルと監査ファイルと呼ぶ2つのファイルがありま

した。期中の資料を保管していた監査ファイルもデータ化しようと着手をしたのです。



データ化したら紙資料は捨てないとダメ

決算書ファイルは年に1度なので、データで保管したら、それ以降はデータで確認する流れを作ることができました。そのため、紙資料はすぐには捨てずに保管していましたが、特に問題はありませんでした。でも、監査ファイルというお客様の期中の資料を保管するファイルは、すぐに問題に直面しました。データ化したら直ぐにファイルごと思い切って捨ててしまわないと、次々に新しい書類をファイリングしてしまうのです。結果、どこまでデータ化したかわからなくなってしまうのです。一度、データ

化したはずのお客様のファイルに新しく綴られた差分を確認してデータ化し、その時点でファイルを捨てていく作業を始めました。中々思い通りに進まず、データ化作業はストレスの溜まるものでした。

前期申告書を参照しながら 当期申告書を作るためには

2009年7月に開始したデータ化は紆余曲折ありましたが、毎月、前月の申告終了先をデータ化するという段取りで、その1年後の2010年6月まで1年の月日をかけて終了しました。今になってみれば、もう一度スタートを切れば、正直3ヶ月もあれば終了できるのではないかと思います。ところで、1年を経過したときに直面したのは、当期申告書を作成するのに前期申告書をデータで見ないといけないということです。

それまでは前期申告書を机の上で開いて、当期の申告書をパソコンの画面で作っていたのですが、2010年6月には、前期の申告書をデータで見ないといけなくなりました。画面が小さいと前期と当期を交互に切り替えて開かないといけません。切り替えて見ているうちに、数

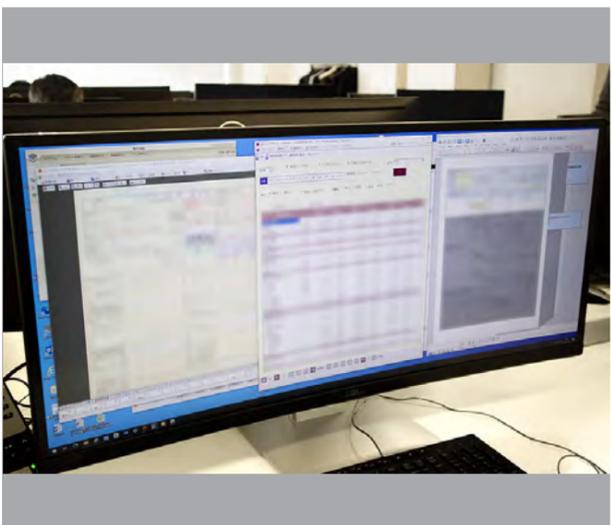
データ化した決算書・ 申告書は、お客様と共有する

2010年6月にはCASH RADARがクラウドシステムに生まれ変わり、それと同時に私書箱システムもリリースされました。この私書箱にデータ化した決算書・申告書、定款・謄本、各種届出書、議事録などを保管し、ここにお客様もアクセスできるようにIDをお渡ししました。お客様と共有書庫を持ち始めたのです。これは、WEBに抵抗のあるお客様はともかく、多くのお客様に賛同をいただけるものでした。

製本してお渡ししていた申告書も 報告書もWEBで提供する

私書箱システムのリリースにより、それまで紙に印刷をして提供していた申告書は私書箱に保管することにより、WEB上でお客様に提供できるようになりました。また、監査が終了すると、その報告書を作成して製本・郵送していましたが、こちらも私書箱に保管をすることでWEB上でお客様に提供。あらゆるシーンでペーパーレスによる日常業務が浸透していき、常に変化向上していったのです。

字のミスも起こりかねず、これは当時頭を抱える問題でした。それを解決したのはパソコンにもう一つモニターを接続して2つのモニターで仕事をするスタイルです。今ではウルトラモニターという巨大なモニターを接続していますので、たくさんのシステムやファイルや資料を机に並べると同じようにモニターに広げて仕事をする事ができています。



1つのモニタ上で、複数ウィンドウ開いて処理することが可能

申告書の点検は 紙に印刷するのですか

そして、このとき、富士ゼロックス社のドキュワークスを導入したこともデータでの点検の成功の要因になりました。

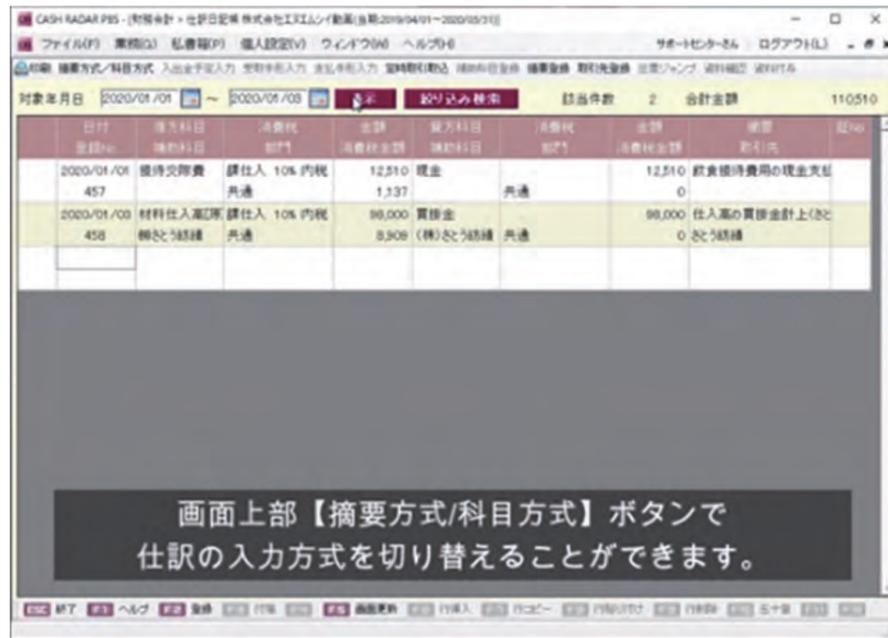
NMC Journalのご案内

操作マニュアル動画を公開しております！

CASH RADAR PB システムの操作方法でお困りのことはございませんか？どんなことができるのか、いま一度ご確認したいと思っているメニューはありませんか？もしかしたら皆様にお伝えしきれていなかった「実は便利な機能」があるかもしれません。

操作マニュアル動画では、ナレーション解説を合わせ、操作機能を分かりやすくご説明しております。

▶ 仕訳入力：仕訳日記帳①仕訳の入力（科目方式）



▶ 現在公開中のメニュー

会計

仕訳入力 <ul style="list-style-type: none"> 仕訳日記帳 会計伝票 	マスタ作成 <ul style="list-style-type: none"> 科目設定 部門設定 定時取引仕訳設定 定時取引伝票設定 取引先設定 摘要設定 期首残高登録 過去実績値登録
集計表 <ul style="list-style-type: none"> 月次試算表 消費税集計表 	
会計監査 <ul style="list-style-type: none"> データ監査 	その他の機能 <ul style="list-style-type: none"> 帳票の出力 複数メニューの起動
決算処理 <ul style="list-style-type: none"> 決算修正（仕訳日記帳） 決算修正（会計伝票） 	

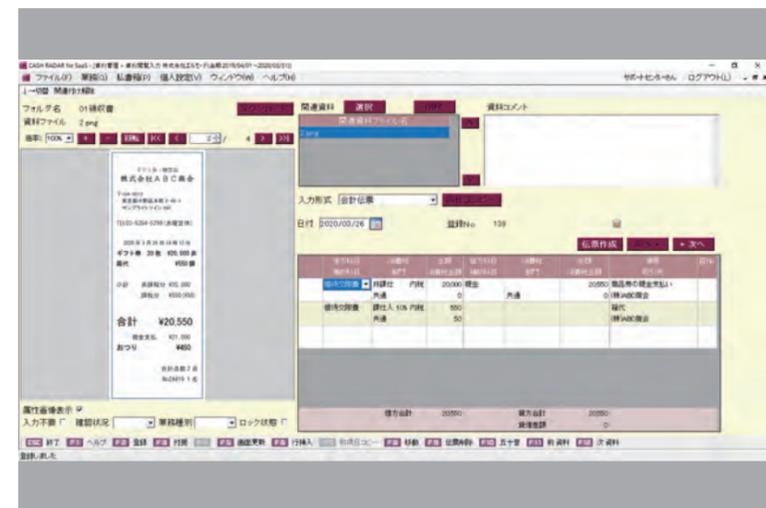
お客様から預かる原始資料もデータ化しよう

エヌエムシイ税理士法人は1973年に福島県いわき市（いわき事務所）で創業し、2002年に東京（東京事務所）にも拠点を設けて法人化しました。2002年より2011年まで約10年間は監査・記帳代行、決算書・申告書作成はいわき事務所で行い、税金対策やデータの説明などは東京事務所が行う分業制でお仕事をしていきましたが、2011年の東日本大震災により、その分業体制が維持できなくなりました。そのとき、会計事務所での経験は十分あるけど、フルタイムで働きに出れないという方（今私たちはその方たちを在宅スタッフと呼んでいます）を戦力化するスキームを開始したのです。在宅スタッフに仕事をしてもらうためには、お客様からお預かりした原始資料をデータ化することが必須でした。このとき、エヌエムシイ税理士法人はペーパーレスの取り組みから2年の月日が流れておりましたので、その挑戦の壁は極めて低いものでした。震災から3ヶ月後の2011年6月に40名の会計事務所経験者に合格を通知し、在宅スタッフとして活用を開始したのです。

《2013年にテレワーク（在宅勤務）を一部社員で開始》

当時、テレワーク（在宅勤務）を会社から命じられて実践した社員がNMC Journalでそのときのことをお話しておりますので、是非、そちらでご確認ください。

CASH RADARの仕訳に資料がついていたら



CASH RADAR PBシステムで仕訳に「資料付与」された画像

右記の画面をご覧ください。CASH RADARには

仕訳に資料を添付しておくことが可能です。決算時に1年分のデータを振り返るとき、昨年のデータを振り返るとき、仕訳に根拠資料がついていたら便利です。資料をひっくり返して探したいのではなく、仕訳に資料がくっついていないかなど感じることは多くあるのではないのでしょうか。これもペーパーレスの一つかもしれませんね。CASH RADARのオプション機能になりますので、ご興味をいただきましたら担当営業までお尋ねください。

CASH RADARのユーザー事務所様に輝いていただく

ところで冒頭にもお話ししましたが、エヌエムシイ税理士法人は2020年4月の緊急事態宣言を機にテレワークを通常の働き方に位置づけました。それは、10年の紆余曲折の失敗も含めた歴史があつてこそで、必ずしも簡単なものではありませんでした。エヌエムシイはお付き合いのある全国の事務所様にはここには書ききれないたくさんの現場での経験をお伝えしていきたいと考えております。「CASH RADARのユーザー事務所様に輝いていただく」ために私たちは支援をさせていただきます。

サポート Q&A

エヌエムシイサポートセンターでは、CASH RADAR PBシステムをお使いの皆様からのご質問やお問合せにお答えしております。その中から多かったご質問についてご紹介いたします。



Q (会計) 月次試算表を開いた状態で仕訳の確認を行いたい

A 月次試算表や比較試算表等には「元帳ジャンプ」という機能がございます。確認したい勘定科目（あるいは補助科目）の名称や残高欄をダブルクリックすることで、総勘定元帳・補助元帳画面を同時に起動し仕訳の確認や修正が可能です。月次試算表に戻った際には最新の残高を確認するため「F5 画面更新」を行ってください。

Q (会計) 事業年度を短縮したい

A 会計監査タブの「月次締め処理」をすべて解除することにより、マスタ作成タブの基本情報設定で「事業年度終了日」の変更が可能となります。ただし、変更後の事業年度終了日より先日付の仕訳が登録されている場合は変更できません。この場合、仕訳日記帳で先日付の仕訳をエクスポートしたうえで削除を行うことで変更が可能となります。(事業年度変更後に仕訳をインポートしてください) 詳しい処理方法につきましてはサポートセンターへお問い合わせください。

Q (My 給与) 顧問先の給与明細をペーパーレスで作成できないか

A スマートフォンやパソコンなどからいつでも確認が行える『My 給与』というオプションサービスがございます。毎月の給与データを登録いただくだけで、指定された公開日に社員のスマートフォンやパソコンから給与明細を閲覧できるようになっており、過去年の給与明細の閲覧、源泉徴収票の出力も可能です。給与システムを導入いただいている場合は、お申込みなく5名様まで無料でご利用いただけます。5名様以上は人数に応じてご利用料金が変わりますので、詳しくはサポートページの製品情報をご確認ください。初回3か月は月額無料となりますので、作業コストのスリム化にぜひご利用ください。

ご不明なことがございましたらお気軽にお問い合わせください。

03-5354-5219 (平日10:00~17:00)
 <http://www.cr-pbs.com/support/>

▶ 「NMC journal」で動画をご視聴いただけます

操作マニュアル動画は、「株式会社エヌエムシイ SERVICESITE - NMC journal」で「会員限定記事」として公開しております。会員登録を完了した時点から、すぐに全ての動画をご視聴いただけます。

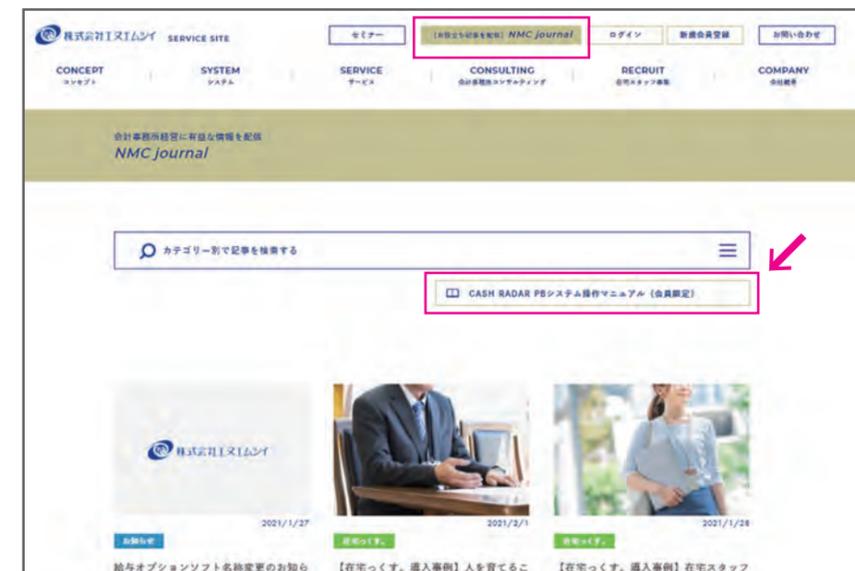
NMC Journal | サイト <https://nmc-ao.jp/journal/>

▶ 「会員登録」は簡単・無料

「新規会員登録」または「CASHRADARPB システム操作マニュアル (会員限定)」からご登録いただけます。会員料金などは一切発生いたしませんので、お気軽にご登録ください。

NMC journal 「CASH RADAR PBシステム操作マニュアル (会員限定)」

👉 [こちらからアクセス!](#)



▶ 今後の公開予定

・給与 ・資料管理 ・サポート Q&A ・新機能のご紹介 など順次公開していく予定です。

ご要望などは
お気軽に

「こんな動画を公開してほしい」などのご要望がありましたら、担当営業またはサポートセンターまでお気軽にお寄せください。操作マニュアル動画をぜひご利用ください!

佐藤恵美子

エヌエムシイジャーナル Q検索



アフターコロナに勝ち残る条件

まだ十分安心できる段階までには至ってはいませんが、新型コロナウイルス感染症数も減少傾向がみえ、ワクチン接種も開始された昨今、そろそろコロナ後の事務所体制について本格的に考えてゆくべき時期に差し掛かっているのではないのでしょうか。これから先を見据えると、サービスのあり方、職員の働き方など、あらゆる面でコロナ前と同じでいいというわけにはいきません。

むしろ緊急事態宣言下の一時策として試行してきた事務所も多い、資料の電子化やお客様とのWebコミュニケーション、職員のテレワークなど「新しい働き方のスタイル」を、日常的な業務スタンダードとして定着させるための絶好の機会と捉えるべきではないでしょうか。

今後、会計事務所としてより良い人材、を確保していく意味でも、ITを駆使した効率経営が優先事項に挙げられることは間違いありません。先日お会いした某大手事務所の先生も、「職員の在宅勤務を受け入れられないような事務所では、優秀な人材の獲得競争から離脱するしかありませんね」と断言されていました。私どものグループ、エヌエムシイ税理士法人でも、すでに昨年3月末より職員の在宅勤務を義

務化しておりますが、コロナ禍においてそのような業務スタイルの変化が着実に広がっているようです。

変化に対応するためには「型」が重要

「AI、RPA、自動化、Webコミュニケーション……何をどう選択すべきか、さっぱりわからない」と悩まれている先生も少なくありません。ましてやこのコロナ禍で先行きは不透明。そのようななか、方向を見失わずに変化に対応していくには、事務所の基礎となる「型（仕組み）」を盤石にしておく必要があります。しつかりした「型」があるからこそ、世の中に溢れる情報に振り回されることなく冷静な判断ができるのです。

ただ、開業や支店開設から間もない事務所では、そもそも「型」そのものが未完成です。あるいは歴史ある事務所であっても、年数を重ねる制度疲労を起こしている可能性もあります。それぞれ、時代にマッチした「型」にアップデートしなければなりません。そこで最も効率の良いアップデートの手法はやはり「他の事例を真似すること」だと私は思います。「真似をする」というと、敬遠されるような風潮もありますが「学ぶ」の語源が「真

似ぶ」であるように、真似ることこそ学びの基本であると考えられないでしょうか。

事実、今号で取材にご協力くださいました税理士先生をはじめ、私どもの税理士法人が積み重ねてきたノウハウは、各種情報提供やセミナー、サービスメニューの提供、チームメンバーによる現場支援等を通じて様々な事務所に活用されております。私どものグループの課題解決のために構築された「型」が、姿を変えて同業の先生にもお役に立っているのは本当に光栄なことです。

NMC通信は30号となりました

さて、「会計事務所に新しい風を起こす」というメッセージで2015年4月15日よりスタートしましたNMC通信も、今号で30号目を迎えました。早いもので発刊より6年が経ちます。

その間、私どもエヌエムシイ税理士法人グループをはじめ、CASH R A D A R P B システムをご利用いただいております全国の会計事務所のような実践事例のご紹介、システムメンテナンスやリリース情報、各種セミナーのご案内などをお届けして参りました。

これからもみなさまに、身近でお役に立つ情報提供に努めますので、どうぞよろしくお願いたします。(文/木村哲也)